

# 避難情報について

## 5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル		状況	住民がとるべき行動	避難情報	気象等情報
警戒レベル5		災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保! ・すでに安全な避難ができず、 命が危険な状況。今いる場所 よりも安全な場所へ直ちに移動する。	緊急安全確保	大雨特別警報 (土砂災害) 氾濫発生情報
〜 <警戒レベル4までに必ず避難!> 〜					
警戒レベル4		災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難 ・台風など暴風が予想される場合は、 暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報
警戒レベル3		災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者以外の人も必要に応じ、 普段の行動を見合わせ始めたり、 避難準備や自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報
警戒レベル2		気象状況悪化	自らの避難行動の確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の 災害リスクを確認するとともに、 避難情報の把握手段を再度確認する。	—	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報
警戒レベル1		今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	—	早期注意情報 (警報級の可能性)

平川市が発令

気象庁が発表



避難先は小中学校・公共施設だけではありません。  
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。



避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。  
安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。



危険な場所から警戒レベル3で〈高齢者などは避難〉、  
警戒レベル4で〈全員避難〉です。



警戒レベル5はすでに災害が発生している状況です。